

# 2017年3月期 第1四半期決算説明資料

2016年 8月 4日

喜びを創り喜びを提供する



<http://www.kotobukispirits.co.jp/>

証券コード 2222



- 2017年3月期 第1四半期決算概要 P 1～13
- 2017年3月期 通期業績予想 P 14～18
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 19～43
- 株式の状況・株主還元 P 44～46
- 参考情報 P 47～58

**2017年3月期**  
**第1四半期決算概要**

## 2017年3月期 第1四半期決算の特徴

インバウンド対策、首都圏展開の推進など重点施策の遂行により、着実に実績を積み上げ、経常利益は本年2月より連結範囲に含めた(株) فرانセの事業特性による季節変動のマイナス影響を吸収し、前年同期を上回る。

### 重点施策の当第1四半期の売上実績

#### ①インバウンド売上(主要国内国際線空港売上)

当第1四半期実績 **376**百万円(対前年同期比 **+262**百万円)

#### ②海外売上(台湾、韓国、香港、その他)

当第1四半期実績 **146**百万円(対前年同期比 **+63**百万円)

#### ③首都圏主要売上(シュクレイ、アイボリッシュ、グラッシェル)

当第1四半期実績 **994**百万円(対前年同期比 **+207**百万円)

# 2017年3月期 第1四半期の業績ハイライト①

## 売上高



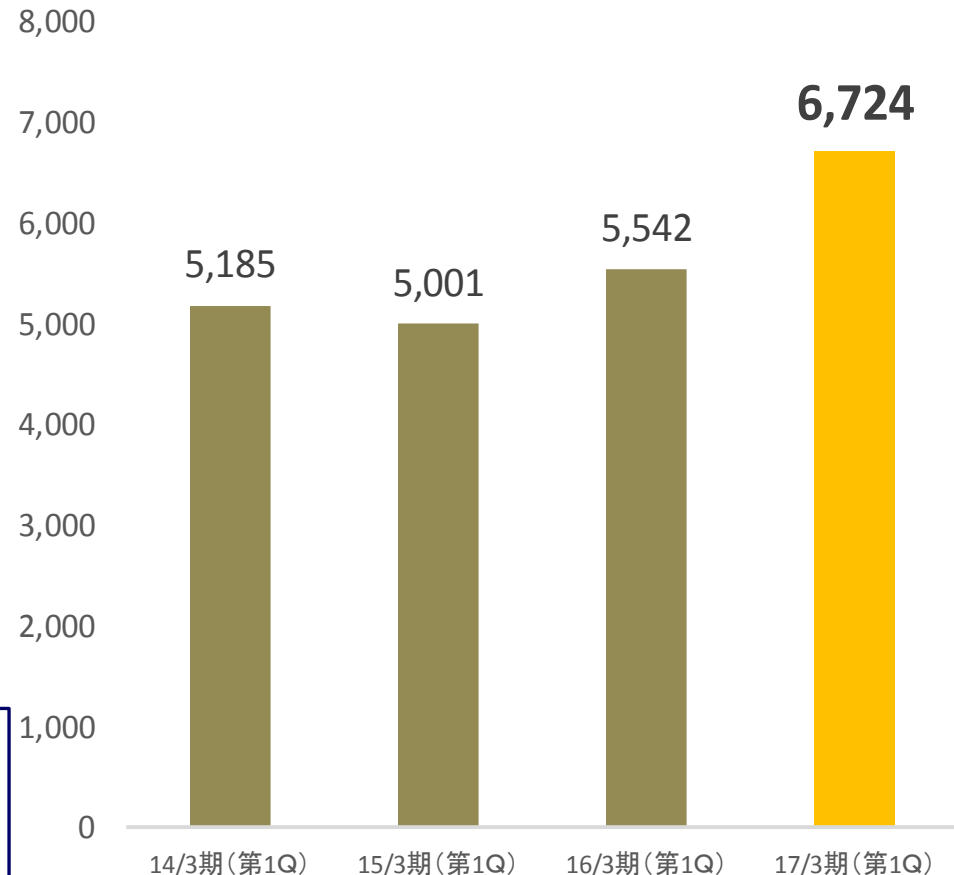
**6,724** 百万円  
(前年同期比21.3%増)

●インバウンド対策、首都圏でのWSR化展開など積極的施策が奏功。また、2016年2月よりグループに加入したフランスの売上高704百万円が加わり、第1四半期として**過去最高売上高を更新**。

フランスを除く売上高 6,020百万円  
(前年同期比8.6%増)

WSR(ワールド サプライジング リゾート宣言)  
W:world 世界へ  
S:surprising ありえないほどの驚きの  
R:resort 非日常(超感動)を提供する

(単位:百万円)



# 2017年3月期 第1四半期の業績ハイライト②

## 経常利益



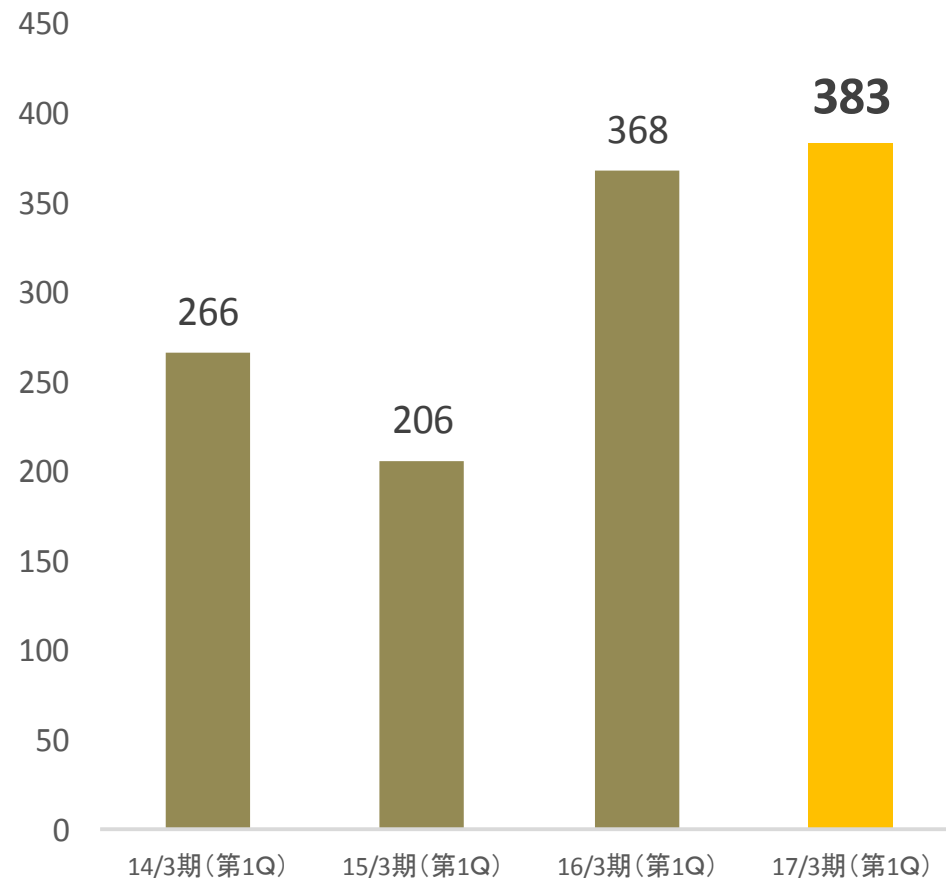
**383** 百万円

(前年同期比4.1%増)

●増収効果に加え、売上総利益率の改善などにより、フランセの季節変動によるマイナス影響を吸収した結果、微増ながら2期連続**過去最高益を更新**。

フランセを除く経常利益 509百万円  
(前年同期比38.3%増)

(単位:百万円)



# 第1四半期のトピックス①

## シュクレイ 首都圏でのWSR化展開を更に加速

(当第1Q 売上高 **1,045**百万円 前年同期比 **+38.3%**)



新ブランド  
**Butter Butler(新宿 NEWoMan) 2016年4月オープン**



**ザ・メープルマニア催事 東武百貨店(池袋)**

シュクレイの売上高(前年比較) (百万円)

	16/3期1Q	17/3期1Q	増減	増減比
店舗	540	592	52	9.7%
催事	136	209	73	53.6%
通販	16	21	5	31.1%
卸	63	221	159	254.2%
計	755	1,045	289	38.3%



新ブランド  
**GENDY(南青山骨董通り) 2016年4月オープン**

## 第1四半期のトピックス②

インバウンド対策 月商1億円を突破/寿スピリッツ流営業・販売を強化  
 (当第1Q インバウンド売上高 **376**百万円 前年同期比 **+228.4%**)



KYOTO VENETO 関西国際空港



LeTAO 成田空港



東京ミルクチーズ工場 成田空港



# 2017年3月期 第1四半期業績(対前年同期)

売上総利益率 対前年同期比1.1ポイント増加

(百万円、%)	前第1四半期 (15年4月～6月)		当第1四半期 (16年4月～6月)		対前年同期		(参考)前期 (15年4月～16年3月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	5,542	—	6,724	—	1,182	21.3	26,612	—
売上総利益	2,947	53.2	3,650	54.3	702	23.8	14,701	55.2
販売管理費	2,598	46.9	3,277	48.7	679	26.1	11,424	42.9
営業利益	350	6.3	373	5.5	23	6.6	3,277	12.3
経常利益	368	6.6	383	5.7	15	4.1	3,326	12.5
四半期(当期)純利益※1	222	4.0	186	2.8	△ 36	△ 16.2	2,305	8.7
EPS(円)※2	7.15		5.99		△ 1.16		74.08	

※1 四半期(当期)純利益=親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

※2 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。

2016年3月期のEPS数値につきましては2016年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

# 販売管理費・営業利益

販売管理費合計 対前年同期比679百万円増加の内、フランセ分は424百万円

(百万円、%)	前第1四半期累計		当第1四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	2,947	53.2	3,650	54.3	702	23.8	14,701	55.2
人件費※	1,117	20.2	1,452	21.6	335	30.0	4,684	17.6
販売促進費	427	7.7	551	8.2	124	29.0	2,002	7.5
運賃	178	3.2	244	3.6	66	36.9	869	3.3
広告宣伝費	59	1.1	58	0.9	△ 1	△ 1.8	219	0.8
地代家賃	275	5.0	366	5.4	91	33.1	1,325	5.0
減価償却費	75	1.4	81	1.2	6	8.1	338	1.3
旅費交通費	96	1.7	110	1.6	14	14.3	405	1.5
その他	371	6.7	415	6.2	45	12.1	1,583	5.9
販売管理費	2,598	46.9	3,277	48.7	679	26.1	11,424	42.9
営業利益	350	6.3	373	5.5	23	6.6	3,277	12.3

※ 人件費の増加は、フランセの影響151百万円、販売部門を中心に採用増加など。

## 2017年3月期 第1四半期業績(セグメント別)

ケイシイシイ、寿製菓・但馬寿、シュクレイの好調により、  
フランスの季節変動要因によるマイナスを吸収し、営業利益は増益を確保

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	前第1Q	当第1Q	増減額	増減率	前第1Q	当第1Q	増減額
ケイシイシイ	1,881	2,004	123	6.5	89	156	67
寿製菓・但馬寿※1	2,024	2,172	148	7.3	124	175	51
販売子会社	1,125	1,150	25	2.3	51	54	3
シュクレイ	755	1,045	289	38.3	57	95	38
九十九島グループ	793	747	△ 46	△ 5.8	3	△ 41	△ 44
フランス	—	704	704	—	—	△ 124	△ 124
その他	48	61	13	26.3	△ 13	△ 13	△ 0
セグメント計	6,626	7,884	1,257	19.0	310	302	△ 8
調整額	△ 1,084	△ 1,159	△ 75	6.9	40	70	31
合計	5,542	6,724	1,182	21.3	350	373	23

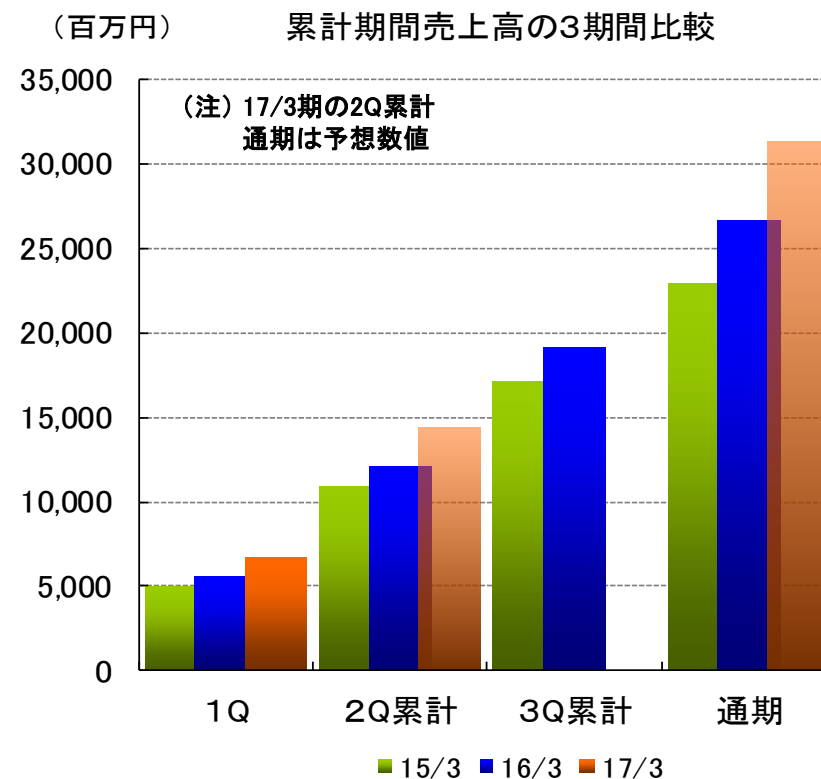
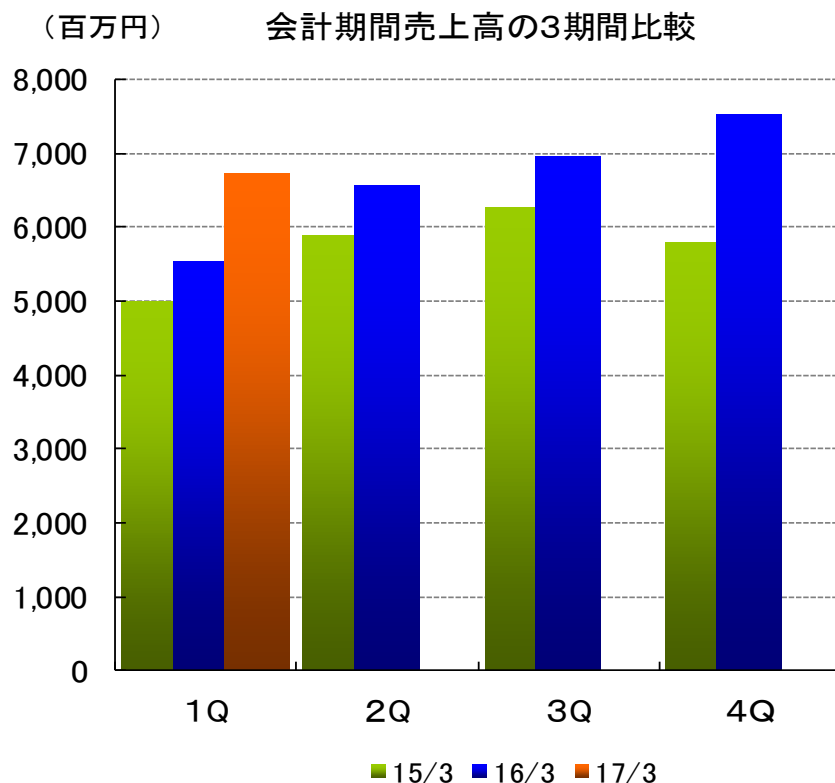
※1 寿製菓・但馬寿は、組織再編(会社分割)に伴い、セグメント区分を統合しております。

## 第1四半期 主要セグメントの状況

ケイシイシイ	「ルタオ」ブランドでの国内主要国際空港における展開強化などインバウンド対策に注力。また、アジア圏における海外展開の推進、周年イベント実施など道内店舗の販売強化に努め、増収・増益。
寿製菓・但馬寿	売上増大に向け、グループ各社及び代理店との連携強化による新商品開発の推進、主力商品の拡販などの対策を推進。山陰地区では、主力商品の販促強化によりシェア拡大に努め、増収・増益。
販売子会社	東海地区の主力商品「小倉トーストラングドシャ」など、主力商品の拡販、新商品開発に注力。宮崎地区は、熊本地震の影響あり。関西地区では、関西国際空港でのインバウンド対策を推進し、増収・増益。
シュクレイ	4月にJR新宿駅南口NEWoManに「Butter Butler」、南青山に「GENDY」を新規出店。ポップアップショップ(期間限定店舗)展開の推進、既存店舗における販売力強化に注力。業績拡大を持続。2月末に閉鎖となった「ザ・メープルマニア」東京駅グランスタダイニング店は、7月に地下1F丸の内坂に移転リニューアル。
九十九島グループ	4月に発生した熊本地震の影響により長崎・佐世保地区が低迷し、減収・減益。フレンチトースト専門店「Ivorish」は、知名度向上に向け首都圏での期間限定テイクアウトショップを推進。
フランセ	事業の特性による季節変動要因により、営業損失計上。工場ラインの統合・改修、ブランド再構築など経営の抜本的な見直しを推進。商品面では期間限定の新商品2品発売し、販売強化に努める。

# 四半期業績の推移(売上高)

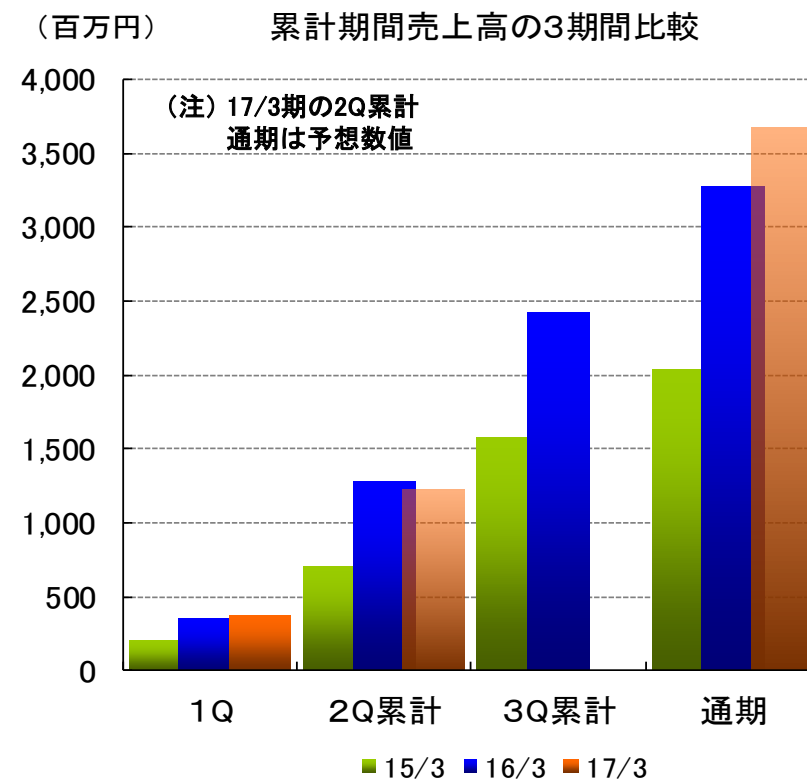
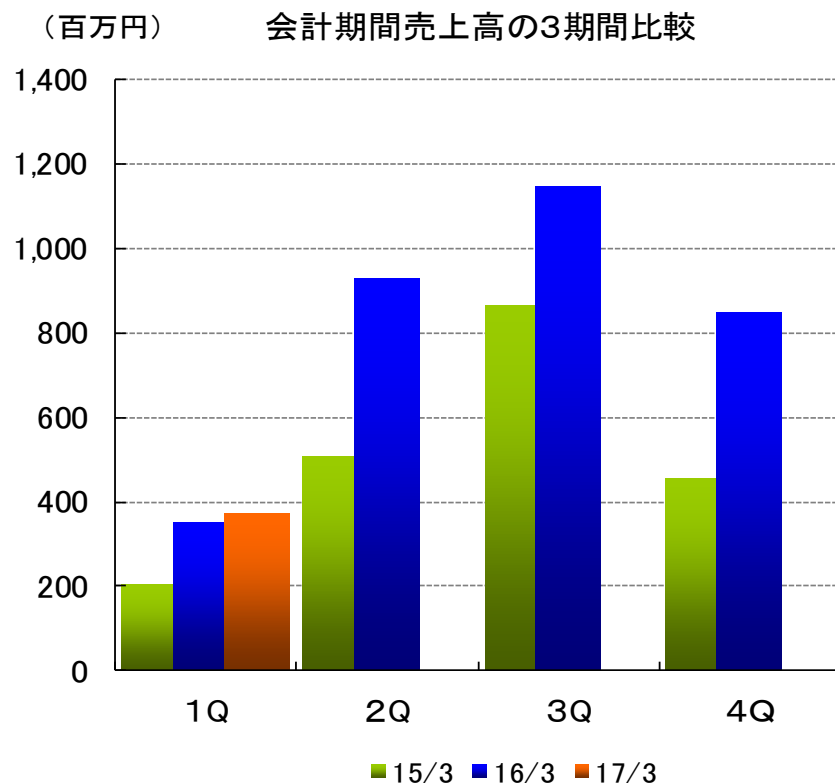
## 1Q実績の2Q累計予想に対する進捗度は46.8%



	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
15/3	5,001	5,889	6,275	5,802	5,001	10,890	17,165	22,967
16/3	5,542	6,569	6,968	7,534	5,542	12,111	19,078	26,612
17/3	6,724	-	-	-	6,724	14,380	-	31,370
増減率	21.3%	-	-	-	21.3%	18.7%	-	17.9%

# 四半期業績の推移(営業利益)

## 1Q実績の2Q累計予想に対する進捗度は30.5%



	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
15/3	202	510	866	455	202	712	1,578	2,034
16/3	350	931	1,148	848	350	1,280	2,429	3,277
17/3	373	-	-	-	373	1,220	-	3,680
増減率	6.6%	-	-	-	6.6%	△4.7%	-	12.3%

# 貸借対照表

自己資本比率 前期末比0.8ポイント増加

(百万円、%)	15年3月期		16年3月期		17年3月期1Q		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	6,606	45.0	8,517	47.5	7,473	44.2	△ 1,044	△ 12.3
固定資産	8,089	55.0	9,420	52.5	9,442	55.8	22	0.2
資産合計	14,695	100.0	17,937	100.0	16,915	100.0	△ 1,022	△ 5.7
流動負債	4,260	29.0	4,819	26.9	4,350	25.7	△ 468	△ 9.7
固定負債	1,456	9.9	2,346	13.1	2,264	13.4	△ 83	△ 3.5
負債合計	5,716	38.9	7,165	39.9	6,614	39.1	△ 551	△ 7.7
純資産	8,979	61.1	10,772	60.1	10,301	60.9	△ 471	△ 4.4
負債純資産合計	14,695	100.0	17,937	100.0	16,915	100.0	△ 1,022	△ 5.7
BPS(円)※	<b>288.53</b>		<b>346.14</b>		<b>331.01</b>		△ 15.13	△ 4.4

※ 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。

2015年3月期・2016年3月期のBPS数値につきましては2015年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。- 13 -



## 2017年3月期 通期業績予想

(通期業績予想は2016年5月12日付で公表した期初予想からの変更はありません。)



## 2017年3月期 通期業績予想(前年対比)

売上高31,370百万円(前期比17.9%増)、経常利益3,700百万円(前期比11.3%増)  
 フランセ影響除く 売上高27,270百万円(前期比6.1%増) 経常利益3,477百万円(前期比8.8%増)

(百万円、%)	16年3月期		17年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	26,612	-	31,370	-	4,758	17.9
売上総利益	14,701	55.2	17,410	55.5	2,709	18.4
販売管理費	11,424	42.9	13,730	43.8	2,306	20.2
営業利益	3,277	12.3	3,680	11.7	403	12.3
経常利益	3,326	12.5	3,700	11.8	374	11.3
純利益	2,305	8.7	2,410	7.7	105	4.5
EPS(円)※	<b>74.08</b>		77.44		3.36	4.5
1株当たり配当金(円)※	<b>20.00</b>		25.00		5.00	25.0
設備投資	797		1,100		303	38.0
減価償却費	736		930		194	26.4

※当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。

2016年3月期のEPS数値及び1株当たり配当金につきましては2016年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

# 2017年3月期 通期業績予想のポイント

## ● 予想スタンス

首都圏展開、インバウンド・アウトバウンド対策などの重点施策の遂行により引き続き成長トレンドで推移すると見込んでいるが、景気の先行きは依然として不透明なため、業績予想は慎重に立案。

## ● フランセの影響

フランセの損益構造は、事業・商品特性による季節変動要因により、売上面・利益面共に下期にウエートが高くなる。現在、進行中の経営の抜本的見直し(工場改善、リブランディング、経営管理システムの変更など)の影響は、下期から改善効果を見込んでいる。

### (フランセ業績予想)

(単位:百万円)

	上期	下期	通期
売上高	1,515	2,585	4,100
営業利益	△ 234	346	112

## ● 熊本地震の影響

直接的な被害はないものの、売上面では、寿製菓の代理店卸(大分、熊本)、販売子会社(宮崎)、九十九島グループ(長崎・佐世保)は、旅行客減少などにより、上期で350百万円の減収見込む。

## ● 設備投資・減価償却

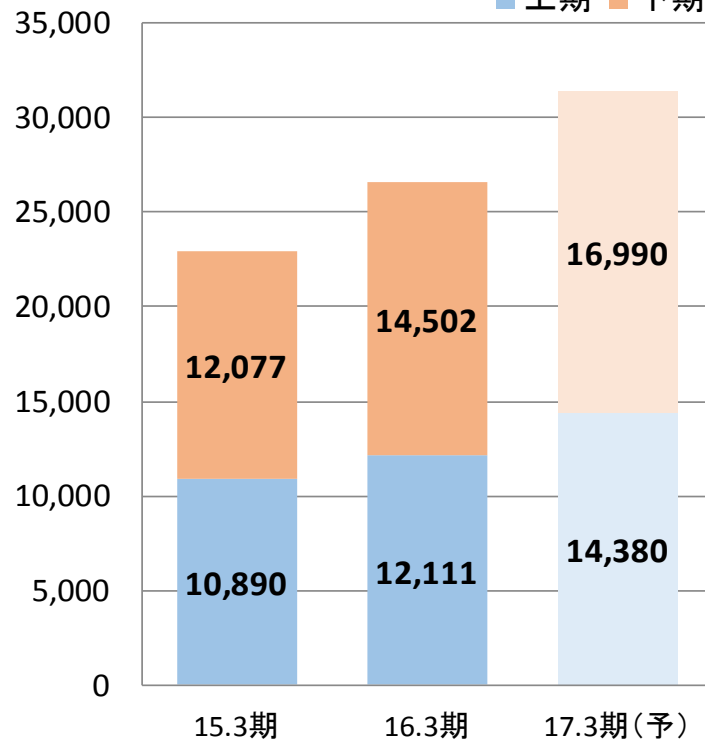
設備投資計画は、フランセが工場改修、ライン新設等で350百万円の実施予定。グループ全体で1,100百万円を予想。これに伴い減価償却費予想は910百万円(内、フランセは150百万円)。

# 2017年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)

(百万円)

## 売上高

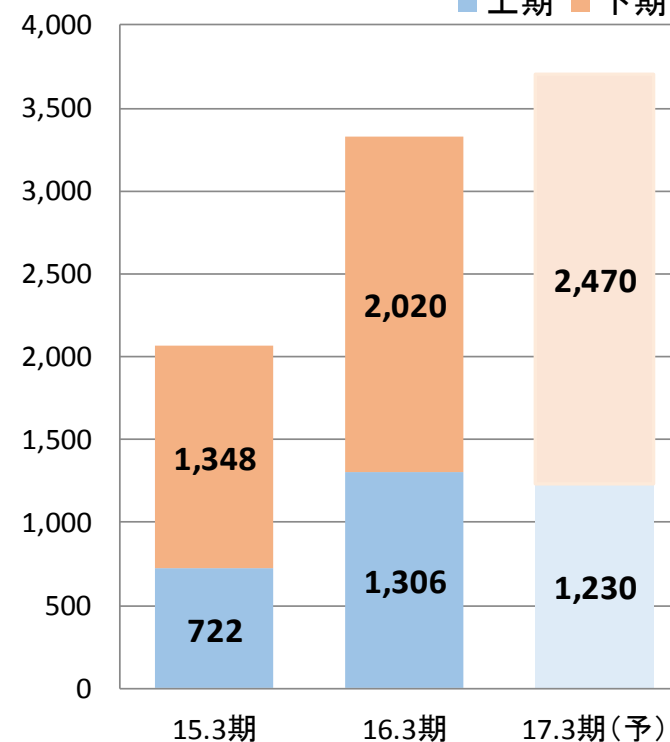
■ 上期 ■ 下期



(百万円)

## 経常利益

■ 上期 ■ 下期



(単位:百万円)

	売上高						経常利益					
	15.3期	構成比	16.3期	構成比	17.3期(予)	構成比	15.3期	構成比	16.3期	構成比	17.3期(予)	構成比
上期	10,890	47.4%	12,111	45.5%	14,380	45.8%	722	34.9%	1,306	39.3%	1,230	33.2%
下期	12,077	52.6%	14,502	54.5%	16,990	54.2%	1,348	65.1%	2,020	60.7%	2,470	66.8%
通期	22,967	100.0%	26,612	100.0%	31,370	100.0%	2,070	100.0%	3,326	100.0%	3,700	100.0%

## 2017年3月期 通期業績予想(セグメント別)

新生「フランセ」が傘下に加わり、引き続き重点施策の推進により、過去最高益更新を目指す

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	16/3月期	17/3月期予	増減額	増減率	16/3月期	17/3月期予	増減額
ケイシイシイ	9,095	9,700	605	6.7	1,290	1,430	140
寿製菓・但馬寿	8,867	9,460	593	6.7	671	722	51
販売子会社	4,868	5,140	272	5.6	330	395	65
シュクレイ	3,818	4,380	562	14.7	436	480	44
九十九島グループ	3,554	3,590	36	1.0	85	62	△ 23
フランセ※	917	4,100	3,183	347	129	112	△ 17
その他	227	310	83	37	△ 45	△ 64	△ 19
セグメント計	31,345	36,680	5,335	17.0	2,896	3,137	241
調整額	△ 4,732	△ 5,310	△ 578	12.2	381	543	162
合計	26,612	31,370	4,758	17.9	3,277	3,680	403

※ フランセの16/3期実績は、連結の範囲に含めた2016年2月～3月までの2ヶ月間が計上されております。



# 今後の経営方針とセグメント別業績の概況

## ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

# 「お菓子の総合プロデューサー」

## General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアムスイーツ**(Premium Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

# 今後の経営方針

2016年経営スローガン

# WSR<sup>2</sup>

ダブルエスアール・ダブルエスアール

# WSR ワールド サプライジング リゾート宣言

ワールド(W) **世界へ**  
サプライジング(S) **ありえないほどの驚きの**  
リゾート(R) **非日常(超感動)**を提供する

目標指標 **売上高経常利益率 20%**

持続的な成長に向け、更なる粗利率の改善と成長戦略の遂行に注力



## 当面の重点施策

# ①インバウンド対策の強化

- ・国内主要国際空港(成田・羽田・関空・札幌など)における免税売店等への販売強化
- ・直営店舗での免税対応、外国語接客・表示対応



LeTAO 国際線ターミナル免税エリアショップ

LeTAO 成田空港

## 当面の重点施策

# ②海外展開 (海外における事業モデルの構築)

・アジアを中心に直接進出、フランチャイズ方式、合併方式、OEMなど

## 台湾

## 韓国

## 香港



直接進出



フランチャイズ方式



合併方式

## 当面の重点施策

# ③首都圏でのWSR化展開の推進

- ・シュクレイ 新ブランド(GENDY・ Butter Butler)の確立 新規SAの展開
- ・Ivorish、GLACIELの展開
- ・グループ各社による催事展開の推進



GENDY



Butter Butler

## 当面の重点施策

# ④プレミアム・ギフトスイーツの創造と育成

- ・美味しさの追求と、少チャンネル・多用途のプレミアム・ギフトスイーツの開発推進
- ・主力商品のリニューアルによるバージョンアップと価格改定



## 当面の重点施策数値目標

①～③の重点施策目標数値 2年後の2018.3期に 100億円突破を目指す。

(単位：百万円)

	実績 2015/3期	実績 2016/3期	目標数値 2018/3期	増減
①インバウンド売上	234	810	<b>2,500</b>	1,690
②海外売上	0	550	<b>1,500</b>	950
③首都圏主要売上	3,058	3,850	<b>6,000</b>	2,150
① + ② + ③	3,292	5,210	<b>10,000</b>	4,790

①インバウンド売上…国内主要国際空港での売上

②海外売上…台湾（現地法人売上）、韓国・香港などは国内出荷売上（ロイヤルティ含む）

③首都圏主要売上…シュクレイ（インバウンド除く）、アイボリッシュ、グラッシエルの首都圏売上

（注）上記金額には、新たに連結の範囲に含めた「フランセ」の数値は含まれていない。

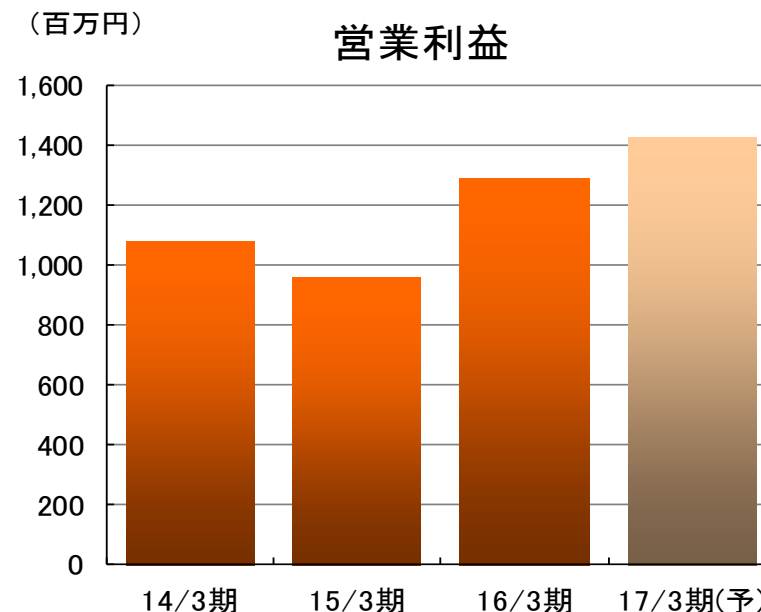
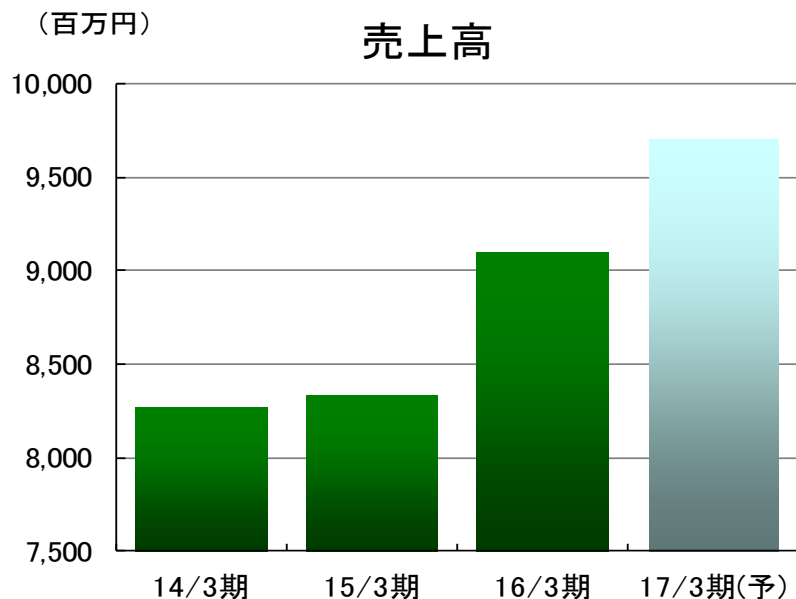
## セグメント別概況

- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- シュクレイ
- 九十九島グループ
- フランセ
- その他



# 《ケイシイシイ》

当期予想:売上高 **9,700**百万円(前期比**+6.7%**)営業利益 **1,430**百万円(同**+10.9%**)



## ケイシイシイ

(百万円,%)	14/3期	15/3期	16/3期	対前期		17/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	8,267	8,331	9,095	764	9.2	9,700	605	6.7
売上総利益	4,913	4,947	5,535	588	11.9	5,924	389	7.0
粗利率	59.4	59.4	60.9	1.5		61.1	0.2	
販売管理費	3,834	3,991	4,245	254	6.4	4,494	249	5.9
営業利益	1,079	957	1,290	333	34.9	1,430	140	10.9

# 《ケイシイシイ》

## インバウンド対策の徹底強化

### インバウンド 主な対策

- ・数カ国語POP、プライス、コミュニケーションカード
- ・アジアのメディア取材積極受け入れ
- ・小樽全店免税対応レジ導入
- ・免税バッグ販売
- ・海外人財の採用
- ・うまディスプレイの導入



うまディスプレイ

新千歳空港



うまディスプレイ

関西国際空港



# 《ケイシイシイ》

## 海外展開: グローバルブランドとして世界へ発信

・圧倒的な発信力のあるエリアへの出店により、高いブランド価値を創出

Nostalgic Modern.  
**LeTAO**  
\*Northern Sweets Manner\*



LeTAO アックジョン店(韓国 ソウル)

# 《台灣北壽心 セグメント名称「その他」》

当期予想:売上高 **230**百万円(前期比 **+15.7%**) 営業利益 **10**百万円(前期は営業損失11百万円)

・昨年4月に2店舗目となるカフェ出店、LeTAOの認知度拡大と物販強化に注力

Nostalgic Modern.  
LeTAO  
\*Northern Sweets Manner\*

關於付款 購物車 我的主頁

HOME 蛋糕 巧克力 店舗介紹 LeTAO簡介 聯繫我們

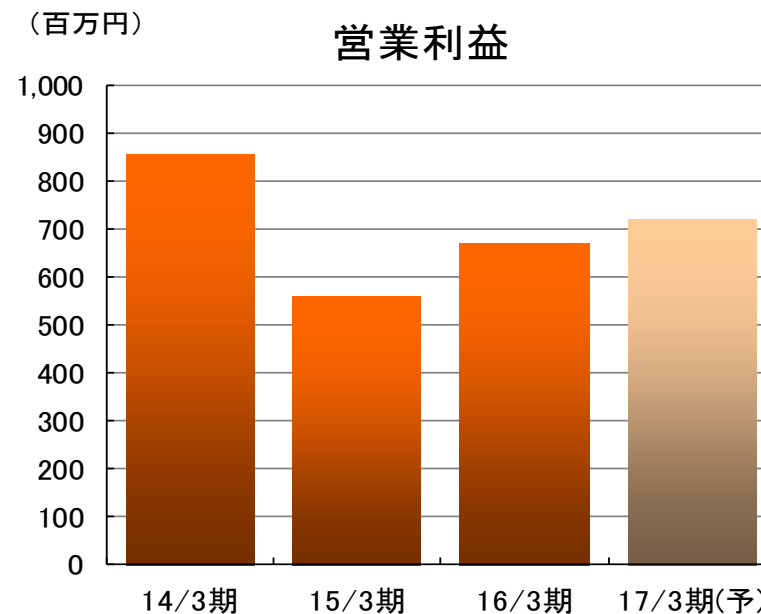
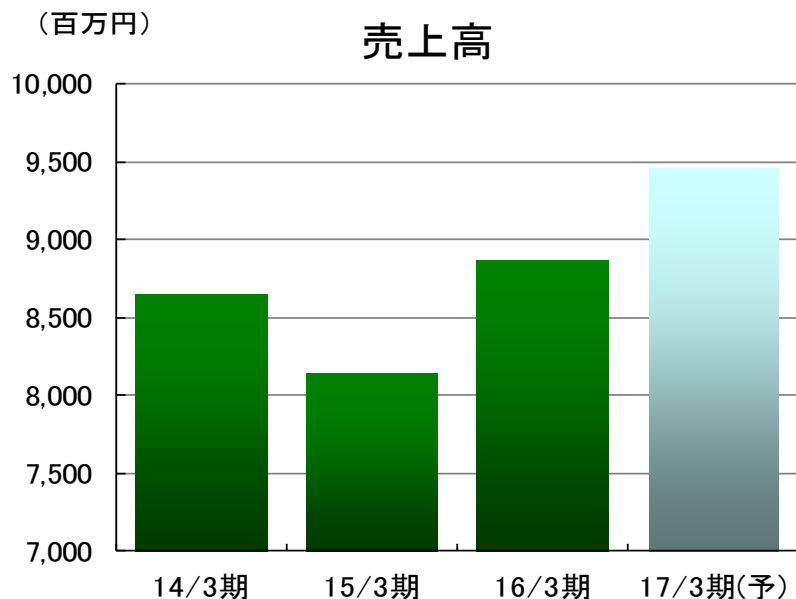
Nostalgic Modern.  
LeTAO  
\*Northern Sweets Manner\*

特別企劃  
相同地址購買兩個以上  
「原味雙層乳酪蛋糕」  
免運費

トゥーブルフロマージュ  
原味雙層乳酪蛋糕

# 《寿製菓・但馬寿》

当期予想:売上高 **9,460**百万円(前期比**+6.7%**)営業利益 **722**百万円(同**+7.5%**)



## 寿製菓・但馬寿

(百万円,%)	14/3期	15/3期	16/3期	対前期		17/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	8,641	8,140	8,867	727	8.9	9,460	593	6.7
売上総利益	3,303	2,976	3,328	352	11.8	3,487	159	4.8
粗利率	38.2	36.6	37.5	1.0		36.9	△ 0.7	
販売管理費	2,445	2,417	2,657	240	9.9	2,765	108	4.1
営業利益	858	560	671	112	20.0	722	51	7.5

# 《寿製菓・但馬寿》

## 重点対策：新商品開発・主力商品強化・販路開拓

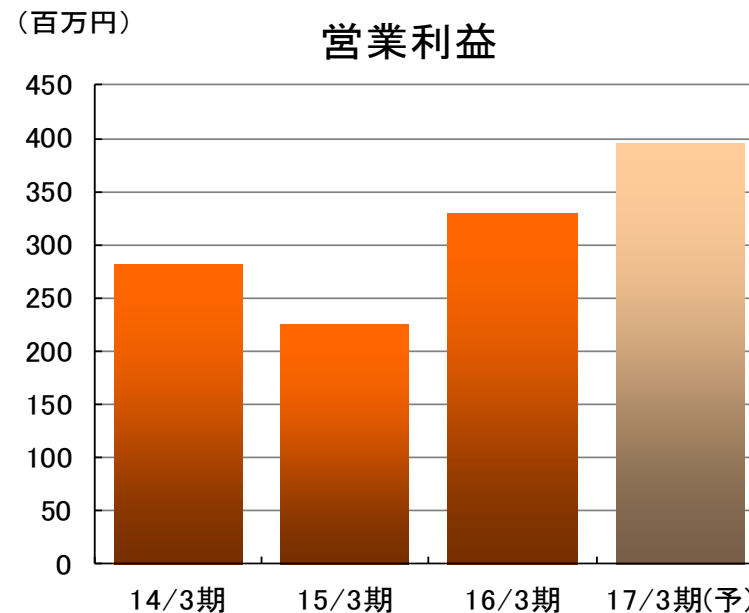
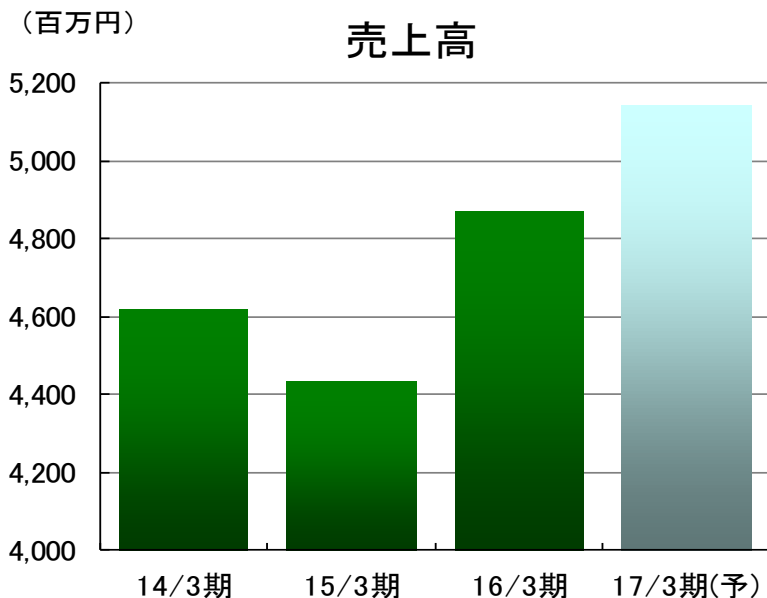
- ・発売50周年を迎える因幡の白うさぎの更なるシェア拡大
- ・グループ会社・代理店との連携を強化



因幡の白うさぎ

# 《販売子会社》

当期予想:売上高 **5,140**百万円(前期比**+5.6%**)営業利益 **395**百万円(同**+19.8%**)



## 販売子会社

(百万円,%)	14/3期	15/3期	16/3期	対前期		17/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	4,619	4,434	4,868	433	9.8	5,140	272	5.6
売上総利益	1,399	1,355	1,550	195	14.4	1,695	145	9.3
粗利率	30.3	30.6	31.8	1.3		33.0	1.1	
販売管理費	1,118	1,130	1,221	90	8.0	1,300	79	6.5
営業利益	281	225	330	105	46.5	395	65	19.8

# 《販売子会社》

## 交通拠点チャンネル(駅・空港・SA)での展開強化

・売場改善等の提案営業強化により、主力商品の更なる売上増大を目指す



小倉トーストラングドシャ  
名古屋駅



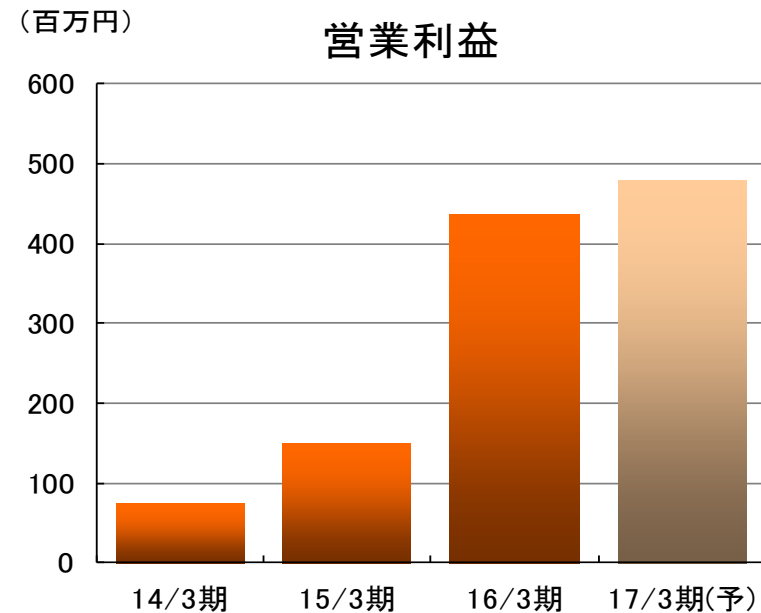
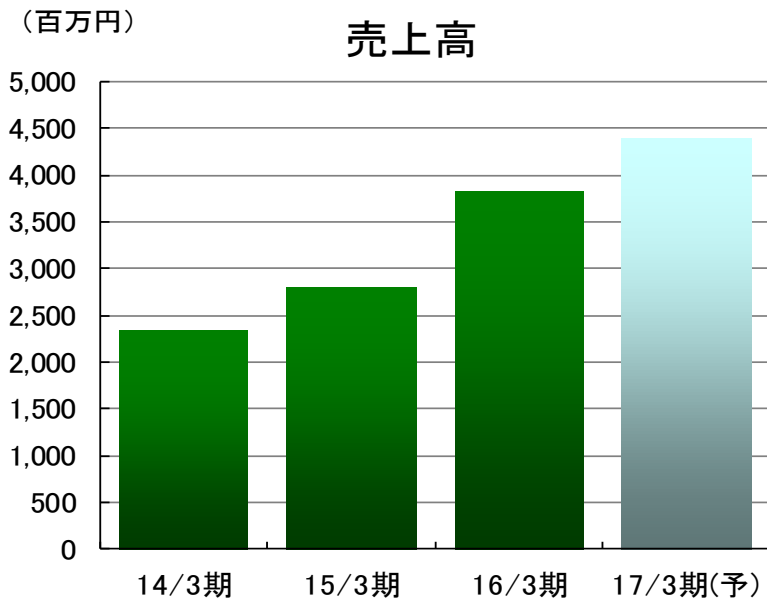
KYOTO VENETO  
関西国際空港



まっかな苺のラングドシャ  
福岡空港

# 《シュクレイ》

当期予想:売上高 **4,380**百万円(前期比**+14.7%**)営業利益 **480**百万円(同**+10.1%**)



## シュクレイ

(百万円,%)	14/3期	15/3期	16/3期	対前期		17/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	2,336	2,795	3,818	1,023	36.6	4,380	562	14.7
売上総利益	1,247	1,537	2,202	665	43.2	2,478	276	12.5
粗利率	53.4	55.0	57.7	2.7		56.6	△ 1.1	
販売管理費	1,174	1,388	1,766	378	27.3	1,998	232	13.1
営業利益	74	149	436	286	191.6	480	44	10.1

# 《シュクレイ》

## 強固なブランドポートフォリオでWSRを推進

- ・既存店舗・催事・駅・空港卸のチャンネルで季節イベント・インバウンド対策を推進
- ・新規SAの展開

築地  
ちとせ



東京ミルクチーズ工場



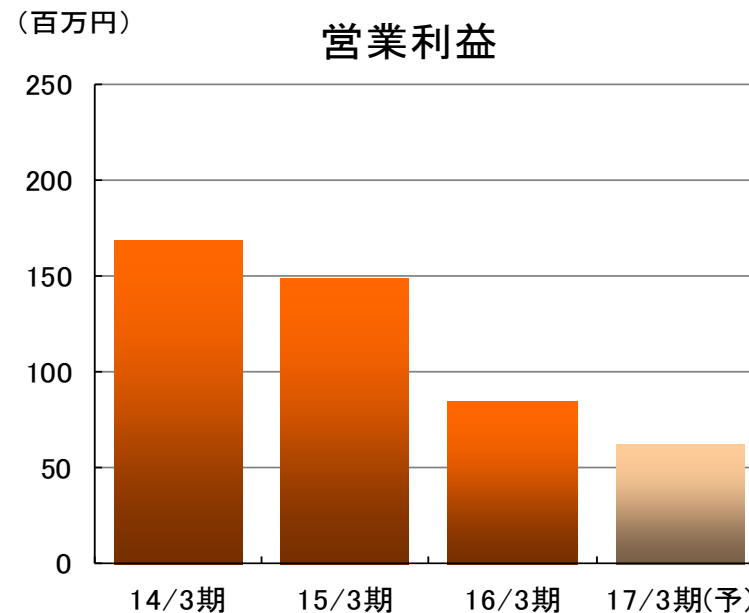
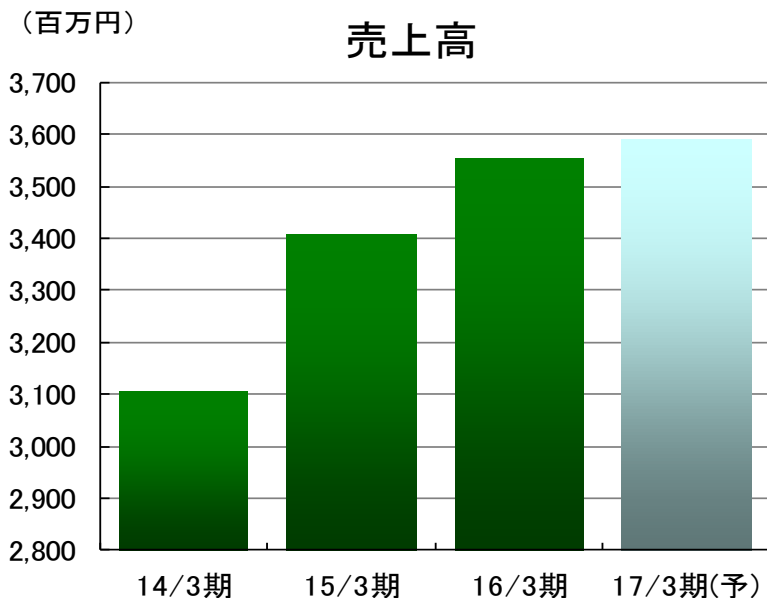
東京ミルクチーズ工場  
東名高速道路 海老名SA(下り) 38 -





# 《九十九島グループ》

当期予想:売上高 **3,590**百万円(前期比**+1.0%**)営業利益 **62**百万円(同**△27.1%**)



## 九十九島グループ

(百万円,%)	14/3期	15/3期	16/3期	対前期		17/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,104	3,409	3,554	145	4.2	3,590	36	1.0
売上総利益	1,271	1,432	1,525	93	6.5	1,542	17	1.1
粗利率	40.9	42.0	42.9	0.9		43.0	0.0	
販売管理費	1,102	1,283	1,440	157	12.2	1,480	40	2.8
営業利益	169	149	85	△ 64	△ 43.0	62	△ 23	△ 27.1

# 《九十九島グループ》

## 主力商品拡販に注力/「Ivorish」首都圏での展開強化

- ・発売65周年を迎えた九十九島せんぺいの更なる拡販に注力



- ・Ivorish 認知度拡大に向け首都圏での物販展開を強化



フレンチトーストギフト「コンテナ」



FRANÇAIS

# 《フランセ》

## フランセの当期予想

事業特性による季節変動要因により、上期は低迷するものの、通期業績では連結業績に寄与する見込み

フランセ

(百万円,%)	16/3期				17/3期(予)			対前期
	上期	下期	通期	内連結対象	上期	下期	通期	増減額
売上高	1,664	2,422	4,085	917	1,515	2,585	4,100	15
売上総利益	639	1,225	1,864	465	706	1,454	2,160	296
粗利率	38.4	50.6	45.6	50.7	46.6	56.2	52.7	7.1
販売管理費	850	951	1,800	336	940	1,108	2,048	248
営業利益	△ 211	275	63	129	△ 234	346	112	49

(注)16/3期実績の上期は、監査法人の監査を受けておりません。また、前期実績の内、2月～3月までの2ヶ月間の業績を連結の範囲に含めております。

### 当期の主な経営改善の取り組み

#### 工場改善

ミルフィユラインの統合(浜松工場・横浜工場の両生産を横浜工場に集約)(5月完了)  
 浜松工場にラングドシャラインを新設(グループ向け製品供給と新製品開発)(10月予定)  
 製造工程の一部外注を全て内製化、合理化設備の導入(4月から順次)など

#### ブランド再構築

ブランドのデザイン・商品等の抜本的な見直し(9月中旬から順次変更予定)

#### その他

本社機能(営業、開発、経営管理)の一部を横浜・桜木町の新オフィスに移転(8月)  
 理念浸透、経営管理システムの変更等



# 《フランセ》

## 経営の抜本的な見直しプロジェクトを推進 横浜NO.1ブランドを目指す

- ・工場改善、リブランディング、理念浸透、経営管理システムの変更等



木苺をたのしむミルフィユ



レモンをたのしむミルフィユ

# 《その他》

純藍

純藍 グループ会社研究開発部・大学との連携を推進  
健康ブルーを全国へ発信



藍の青汁



うる藍バリア



青のハーブティー

寿製菓株式会社 国立大学法人島根大学との共同研究

平成28年4月28日に藍のポリフェノール(フラボノイド)の物質特許、製法特許およびコレステロール合成に関わる3-ヒドロキシ-3-メチルグルタリル(HMG)-CoA還元酵素阻害剤としての用途特許を取得



# 株式の状況・株主還元

# 株式の状況

(2016年3月31日現在)

■発行可能株式総数 30,400,000株

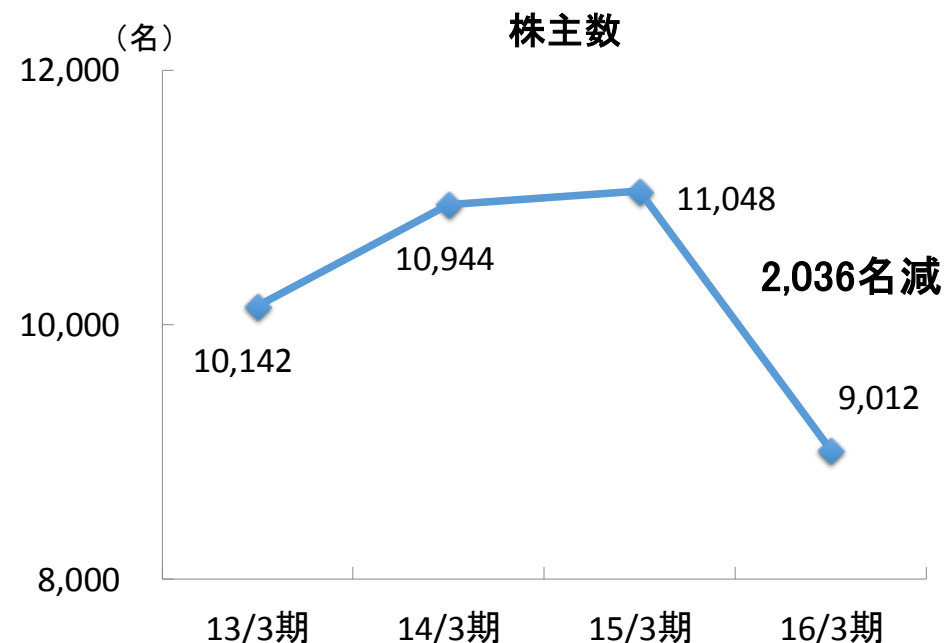
■発行済株式総数 10,373,840株

■単元株式数 100株

■株主数 9,012名

(対前期末比 2,036名減)

■大株主(上位5位)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	3,100,000	29.88
寿スピリッツ従業員持株会	328,226	3.16
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	322,400	3.11
株式会社山陰合同銀行	300,000	2.89
とりぎんリース株式会社	254,000	2.45

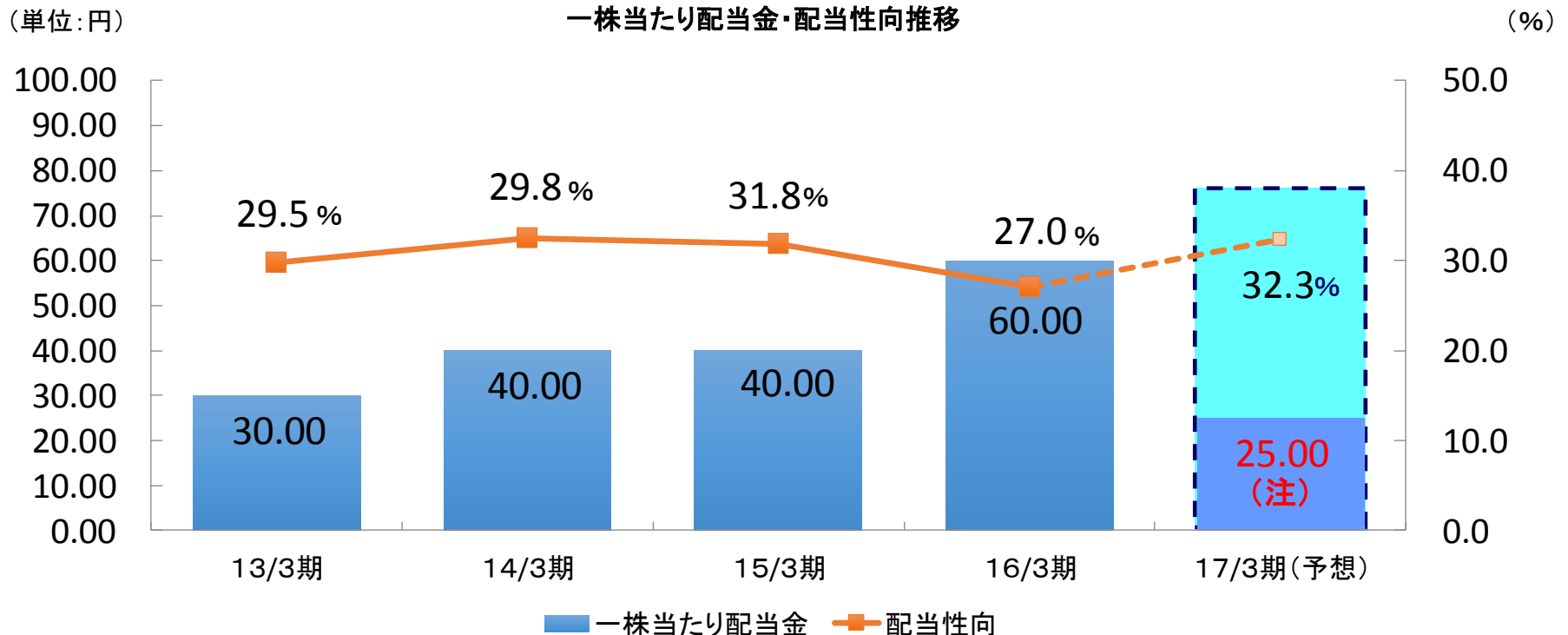
注)出資比率は、自己株式535株を除く

# 株主還元

## ■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

## ■ 2017年3月期1株当たり配当金予想 **25円** (注)



(注) 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。予想一株当たり配当金は分割後の発行済株式数より算出しており、分割前に遡及修正して換算すると予想配当額は、1株当たり75円となります。





# 《参考情報》

# 会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体10名・連結1,106名
グループ会社	連結子会社18社(国内17社・海外1社)
連結売上高	266億円(2016年3月期)

# 沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキ(現 株式会社北陸寿)を設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

## 沿革(2)

- 1998年6月（平成10年）創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月（平成17年）営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月（平成18年）寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月（平成23年）東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月（平成24年）株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月（平成24年）台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月（平成25年）東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月（平成26年）東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月（平成26年）東京都港区に純藍株式会社を設立。
- 2016年1月（平成28年）株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。



小樽洋菓子舗ルタオ



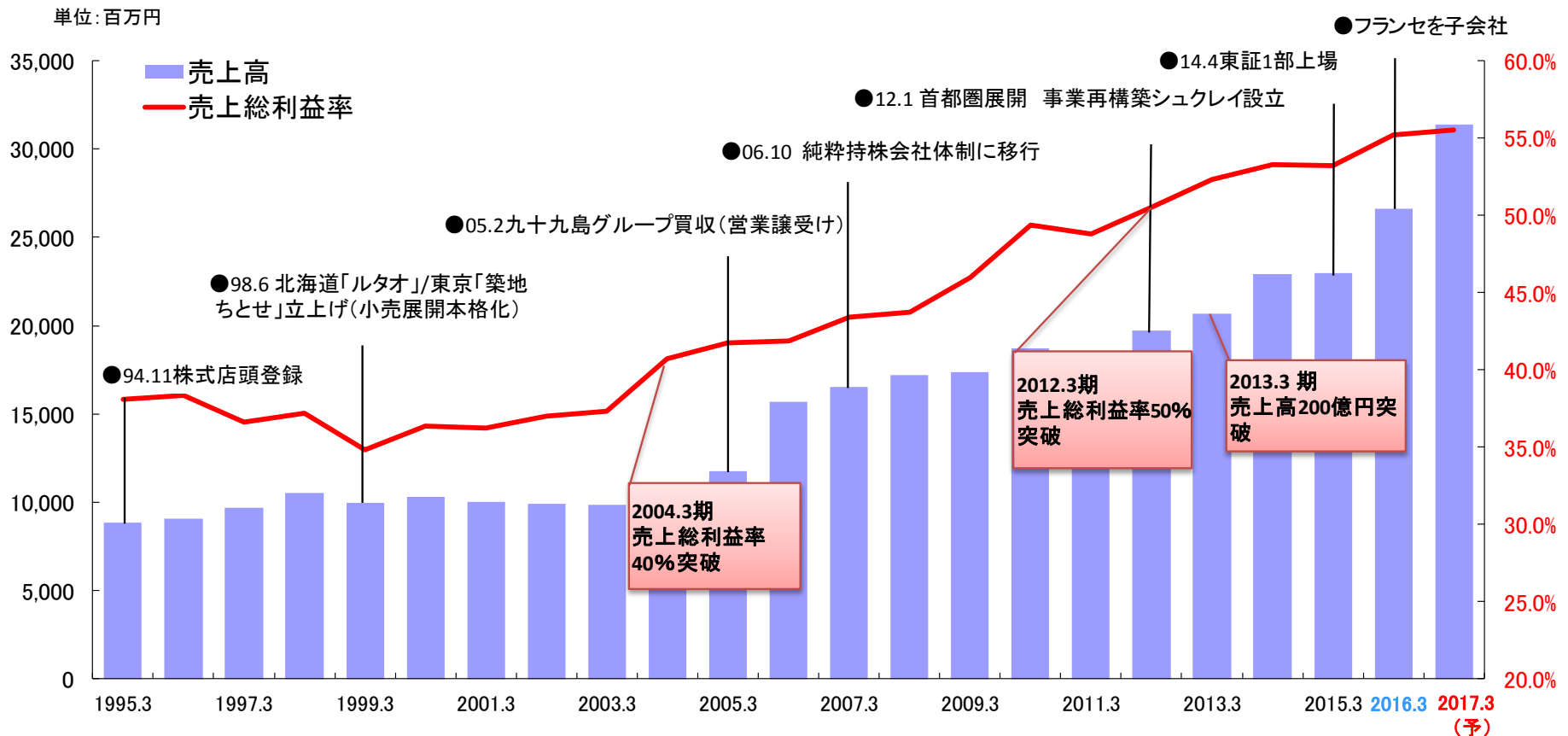
“ドゥーブルフロマーージュ”



“九十九島せんぺい”

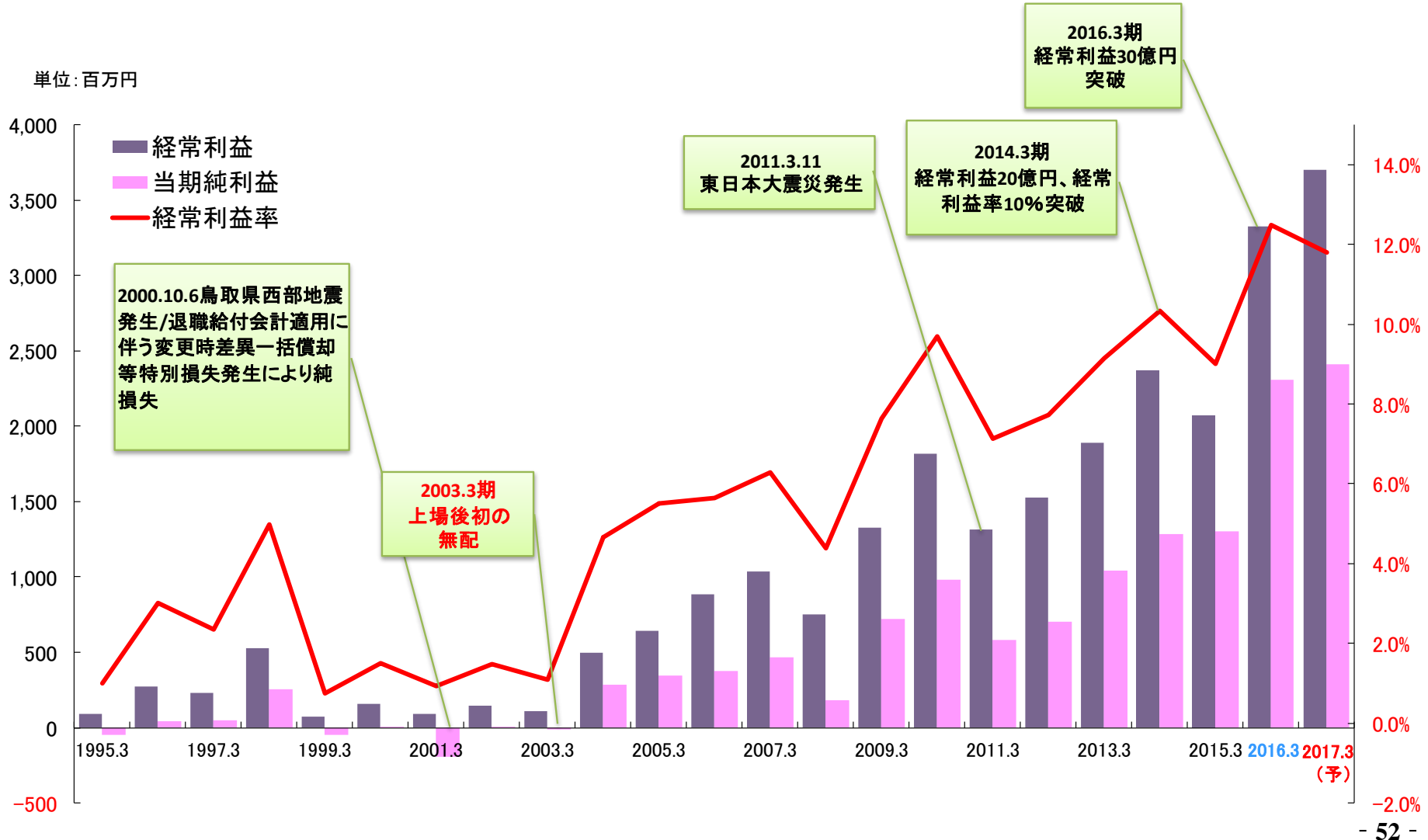
# 寿スピリッツグループの変遷①

製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進  
 組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む



# 寿スピリッツグループの変遷②

## 2014.3期 売上高経常利益率10%突破、高い収益性を実現



# 経営理念について

## 経営理念

# 喜びを創り 喜びを提供する

寿スピリッツグループは、「**喜びを創り喜びを提供する**」を経営の基本理念に、これをすべての事業活動の指針として、地域社会に貢献する企業集団として事業活動を行っております。

### シンボルマーク



### 「寿スピリッツ」社名の由来

当社グループが積極果敢で熱い精神を引き継ぎ、  
これからの時代を全力で切り拓き、  
より大きな喜びを創造していく会社へ。

そのような念いで新社名『寿スピリッツ株式会社』を制定し、  
シンボルマークには

社員一人ひとりの気持ちが重なって“輪”になるという意味が込められています。

# 基本ポリシー

## 基本ポリシー

# 今日一人、**熱狂的なファン**を創る

私達は、経営理念の実現に向け、「**今日一人、熱狂的なファンを創る**」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画の理念経営**」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「**高い価値を創造**」する高利益企業を目指してまいります。





# 経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

## 《こづち発表全国大会》

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。



# 主要ショップブランド



お菓子の **壽城**  
(山陰)

**遊月亭**  
(兵庫)



(北海道)

**Ivorish**

Premium French Toast

(福岡・東京)



(佐世保・福岡)

KONDITIONEIREI KOBE

(神戸)



横濱フランセ  
(横浜)



東京ミルクチーズ工場

(東京)

# 主力商品一例



Nostalgic Modern  
**LeTAO**  
★Nippon's Sweetly Modern★

「ドゥーブルフロマージュ」



寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



お菓子の**壽城**「とち餅」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「九十九島せんべい」



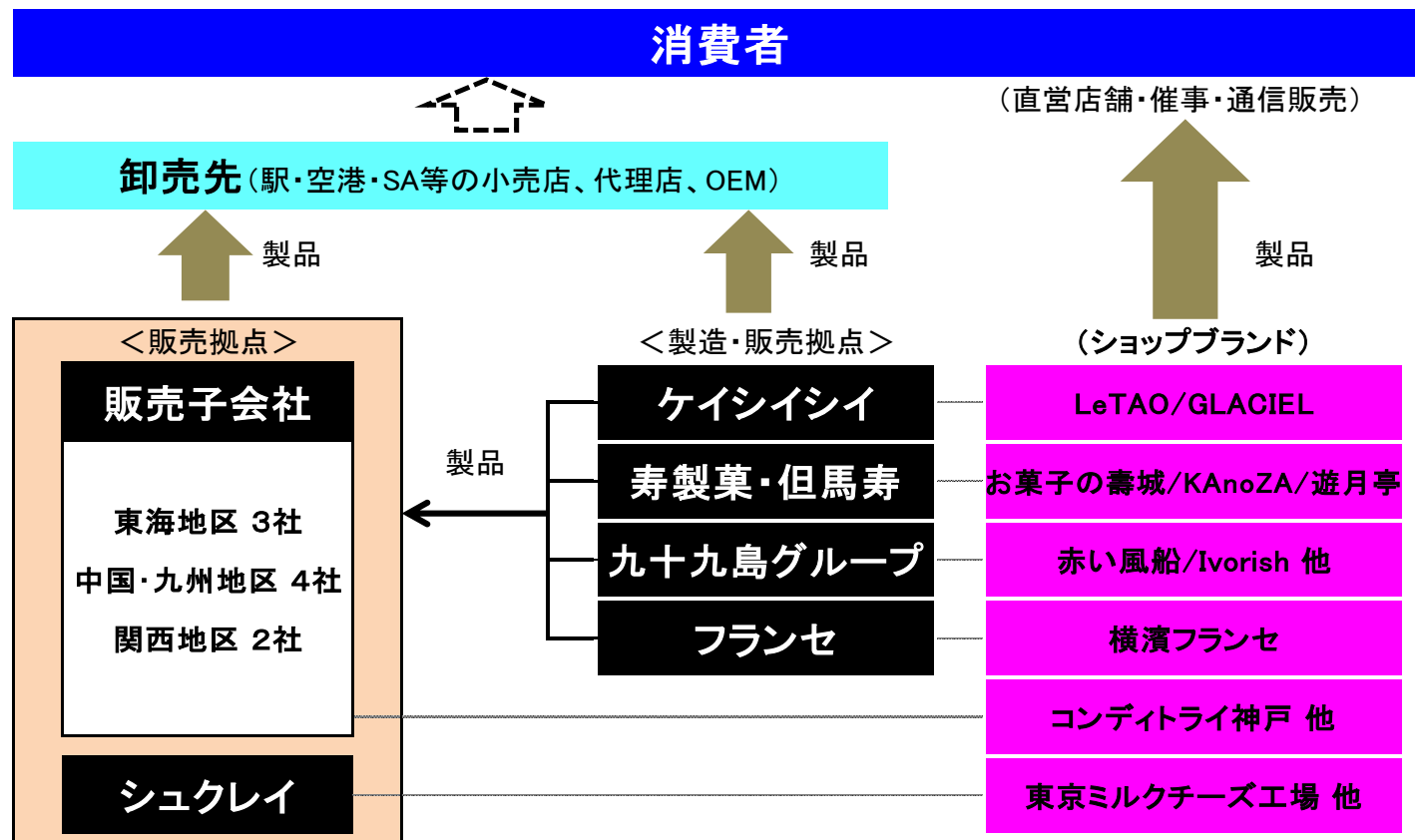
KONBITORE KOBÉ ●「神戸クリームチーズケーキ」

# 事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社18社で構成。  
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。